

握手都市締結5周年

れ市・笠岡市



◀ 友好握手都市締結5周年

笠岡市が、マレーシアのコタバル市、スウェーデンのモービロンガ・コミュニケーションの両都市と「友好握手都市」を締結してから5年。「友好握手都市締結5周年記念式」が10月22日、笠岡グランドホテルで盛大に行われました。

式典では、高木市長とアジズ市長（コタバル）、バックロット代表（モービロンガ・コミュニケーション）が堅い握手で、お互いの友好の絆を確かめ合いました。そして、これからの友好と平和を祈念して、出席者全員で乾杯しました。

式典終了後、両氏は城見小学校を訪れ、授業を視察。書道やケン玉など日本の文化にふれ、また両国に関する質問などを通して子どもたちとも交流を深めました。



▶ スポーツ優秀者・団体を表彰

今年度、スポーツで優秀な成績を収めた個人や団体を表彰する「笠岡市体育協会表彰式」が10月17日、笠岡総合体育館で行われました。

受賞されたのは70人と3団体で、体育協会の原田会長から一人ひとりに表彰状が手渡されました。

表彰式終了後には、おかやま山陽高校の滝本洋三先生がメンタルトレーニングについての講演をくださり、受賞者も真剣なまなざしで聞いていました。



◀ みんな元気でいきいきと

10月3日、保健センターなどで「かさおか健康福祉まつり」が開催されました。この催しは、高齢者も障害者もみんなが集い、お互いを理解し合うための1日として実施されています。

当日は、元気に過ごす4世代同居家族の表彰や健康チェックコーナーなどがあり、大勢の人が訪れていました。なかでも、「空中灯籠」の会場では、思い思いの絵を描いた紙を入れた袋にヘリウムガスを入れて、子どもたちも障害者の人たちも楽しそうに飛ばしていました。



▶ 大きなおいもが獲れたね

10月1日、干拓地内で金浦の幼児学級の子どもたちとその保護者が、いも掘りを体験しました。いも掘りに使用された畑は、干拓で営農されている人から提供されたもの。子どもたちは、お母さんと一緒に一生懸命、土を掘り、大きないもが顔を出すと、得意げな表情をしていました。

